

地域密着型金融への取組み状況について

(平成25年度)

平成26年7月

徳 島 銀 行

目 次

この度、徳島銀行における「地域密着型金融への取組み状況」(平成25年度)について、取りまとめましたので公表いたします。

当行は、永年掲げてきた「お客さま第一主義」、「地域とともに」の基本理念のもと、お客さまとともに成長し、歴史を共有することを目指すべき姿として、さまざまな施策を実施してまいりました。

平成25年4月よりスタートした、「第19次長期経営計画」『Challenge～創業100年(平成30年3月)、さらにその先の成長を見据えた挑戦～』においても、「地域密着型金融の推進」を重点施策として掲げ、地域とともに、お客さまとともに成長していくための戦略・施策を推進し、地域経済の活性化に積極的に取り組んでおります。

○「とくぎん地域密着考動プラン」に基づく取組みについて	2ページ
○「とくぎん地域密着考動プラン」に基づく具体的取組み	3ページ
○平成25年度の主な成果	
1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮	4～18ページ
2. 地域の面的再生への積極的な参画	19～22ページ

「とくぎん地域密着考動プラン」に基づく取組みについて

当行の永年の
基本理念

お客さま第一主義

地域とともに

第19次長期経営計画

平成25年4月～
平成28年3月

『Challenge～創業100年（平成30年3月）、さらにその先の成長を見据えた挑戦～』

重点施策

地域密着型金融の推進

「とくぎん地域密着考動プラン」

目指すべき姿

力強い成長力と高い存在感を追求し、地域やお客さまとともに成長し続ける銀行

【基本方針】

- I. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- II. 地域の面的再生への積極的な参画
- III. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

お客さまの事業拡大や経営改善支援を通じた

地域経済活性化 への貢献

「とくぎん地域密着考動プラン」に基づく具体的取組み

「とくぎん地域密着考動プラン」

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

- (1) 地域やお客さまとの密着度を高めることによる地域シェアアップ
- (2) 戦略エリアへの経営資源の積極投入によるボリューム拡大、存在感アップ
- (3) 保証制度やABL等、お客さまに応じた貸出推進による中小企業取引の増強
- (4) 成長分野(医療・介護、アグリ、環境エネルギー)への取組み強化による地域産業の育成
- (5) 地域経済の基盤となる「ものづくり企業」への取組み強化
- (6) 企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
 - ① 創業・新規事業開拓期、成長期、安定期の成長支援
 - ② 経営改善、事業再生支援
- (7) 海外進出支援態勢の充実によるお客さまの国際化サポート
- (8) 本部専担部署の強力なサポートによる質の高い提案

積極的な情報発信

ご意見の積極的な吸収

地域社会・お客さま

2. 地域の面的再生への積極的な参画

- (1) 行政、地域団体との連携による地域活性化プロジェクトへの積極的な関与
- (2) トモニHDグループの広域ネットワークを活用した地元情報の発信
- (3) CSR活動の継続的な実施並びに創業100周年を見据えて、新たな地域貢献活動の検討

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

創業・新規事業開拓への支援の実施

(1) 外部機関との連携強化

当行は、提携先である徳島県工業技術支援本部および阿南工業高等専門学校や、徳島ニュービジネス協議会等の外部団体との連携を強化し、情報提供・サポート体制を充実させております。

○徳島市が行う創業支援事業計画へ創業支援事業者として参加(平成26年3月)

徳島市や他の支援事業者と連携して創業希望者に対する起業・創業セミナーの継続開催や資金面の相談に対応する等、創業者及び創業希望者の支援を行う体制整備を図りました。

(2) 6次産業化、経営革新、新連携等の認定企業申請支援

商工会連合会等と連携し、経営革新・新連携、オンリーワン企業や6次産業化など国や県の認定企業申請の支援に取り組んでおります。

(3) 創業・新規事業開拓時の資金需要への対応

「(株)徳銀キャピタル」による出資、「とくぎんニュービジネスサポート」による貸出及び認定支援機関として国や県からの各種補助金の申請手続き支援を行い、創業・新規事業における資金需要にお応えしております。

◇平成26年3月には、徳島県中小企業診断士会から講師をお招きし、『新ものづくり補助金「個別相談会」』を開催いたしました。

○平成25年度 補助金申請支援実績

- ・創業補助金 : 認定書発行 35先のうち、19先が採択
- ・ものづくり補助金 : 認定書発行 23先のうち、8先が採択

平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

創業・新規事業開拓への支援の実施

(4) 情報提供の強化

〇とくぎんサクセスクラブ「技術セミナー」「起業・創業セミナー」の開催

新規ビジネスのヒントとしてご活用いただけるように、提携先の阿南工業高等専門学校と連携した「技術セミナー」や外部講師による「起業・創業セミナー」を継続的に開催しております。

◇平成26年1月には、徳島の本藍染と大谷焼を商品ラインナップに採用して、全国に向けたビジネスを展開する「(株)和える」代表取締役 矢島 里佳 氏を講師に迎え「“ホンモノ”の魅力を全国へ、そして未来へ」をテーマに「起業・創業セミナー」を開催し、サクセスクラブの会員様を中心に26名の方にご参加いただきました。

とくぎんサクセスクラブ主催

和える代表取締役 矢島 里佳 氏を講師に迎え

起業・創業セミナー開催のご案内

参加無料

昨年12月実施の中小企業「創業補助金」には、徳島県内からも多くの応募がありました。起業・創業への関心が高まった今、「ホンモノ」の起業家を講師にお招きし、これから起業・創業を考えている方、今のビジネスから一歩踏み出した新たなビジネス展開(第二創業)を考えている方向けに、起業・創業セミナーを開催します。

今回、講師にお迎えする和える代表取締役 矢島 里佳 氏は、学生時代に数々のビジネスモデル・コンテストで入賞し、慶應義塾大学大学院在学中、『21世紀の子どもたちに日本の伝統をつなげたい』という想いから、和えるを創業しました。「6から8歳の伝統ブランド zero」は、伝統工芸品の「ホンモノ」の良さを兼ね合わせ、今の生活様式の中で、特に子供たちが好きでいる「ホンモノ」の良さに着目し、商品を開発し、主にインターネットで全国販売しています。徳島県内「本藍染め」と「大谷焼」の商品がラインナップされています。テレビや雑誌に採り上げられる機会も多い著名な若手起業家の講演の中から、「起業・創業で大切なことは何か?」の発見に、是非ご参加ください。

日時	平成26年1月30日(木) 午後2時～午後4時 ■午後1時30分より受付開始
会場	徳島銀行研修会館 ※裏面の地図をご参照ください ■徳島市川内町平石渡通団地12番地
講師	和える 代表取締役 矢島 里佳 氏 演題 「“ホンモノ”の魅力を全国へ、そして未来へ」
参加費用	無料ですが、事前にお申し込みが必要です。
定員	50名程度(平成26年1月24日(金)をお申し込み期限とし、先着順とさせていただきます。)
お申込方法	下記お申込書をFAXいただくか、お取引店の担当者にお渡しください。
お問合せ	徳島銀行法人ビジネスセンター ■TEL 088-656-1125 (担当:安藤)

平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援の実施

(1) ビジネスマッチングなどを活用した販路拡大等の成長支援

○ トモニmini商談会の開催

トモニmini商談会は、バイヤーをお招きし面談を設定する小さな商談会で、平成25年度は香川銀行と共催で2回開催いたしました。

① 第4回：大手コンビニエンスストア（平成25年6月）

大手コンビニエンスストアチェーンのご担当者様をお招きし、当行お取引先8社と面談を実施いたしました。
地元の商品が全国へ展開していく足がかりになると考えております。



② 第5回：百貨店「井筒屋」（平成25年9月）

百貨店「井筒屋」（本社：北九州市）のカタログ通販事業ご担当者様をお招きし、当行お取引先8社と面談を実施しました。そのうち4社が成約となりカタログ掲載されました。

なお、昨年度も同様の商談会を開催しており、5社がカタログ掲載となっております。

四国の物産の九州での取扱いはまだまだ少ないため、カタログ通販への採用により、九州での知名度アップ、売上増加につながるものと考えております。



平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援の実施

(1) ビジネスマッチングなどを活用した販路拡大等の成長支援

○「食の魅力発見プロジェクト2013」個別商談会への参加

(平成25年7月)

「埋もれた地域資源」としての『食』にスポットを当て、全国に広く流通させることを目的として、当行を含む第二地方銀行25行の主催による「『食の魅力』発見プロジェクト2013」個別商談会を東京流通センターで開催いたしました。当行のお取引先 4社も出展し、流通業者等と個別に商談を行いました。



○お取引先商品PRへの取組み

当行では、お取引先の商品を多様な場面で活用することにより、PR・販路拡大支援を行っております。

具体的には、とくぎんサクセスクラブ新年互礼会での商品PR展示など、お取引先商品PRへの積極的な取組みを行っております。



サクセスクラブ新年互礼会
お客様商品展示

平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援の実施

(2)「徳島・香川トモニ市場 ～ふるさと物産館～」の取組み

トモニHDグループでは、ネーミングライツを活用したスキームにより、平成22年10月より、東京JR有楽町駅前の東京交通会館1階にアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」をオープンしております。

『徳島・香川トモニ市場』は、徳島県より「阿波とくしまアンテナショップ」第1号店として認定されるなど、県外での徳島及び香川県の物産の販路拡大や観光・物産の情報発信拠点として活用されております。

○「徳島・香川トモニ市場」の売上

平成25年度は、売上高では約75百万円、売上個数では約20万個となり、計画を上回る売上となりました。

百貨店やアンテナショップ関連イベントへの出店なども実施し、地域産品のPR・販売支援を通じて、お取引先のマーケティング拠点としてご活用いただいております。

○PR活動・情報発信拠点としての活用

平成25年11月には、徳島県・香川県・三豊市のご協力をいただき、昨年に引き続き、東京交通会館前ピロティにて、トモニHDグループのお取引先等、総勢14ブースにより、トモニ市場開設3周年記念マルシェ「秋の大収穫祭」を開催いたしました。

今後も観光ガイド、イベント情報の配布など地域情報の発信拠点として活用してまいります。

■平成25年度トモニ市場売上実績

売上高	7,572万円
売上個数	203,832個
レジ通過人数	75,960人
平均商品単価	371.5円
平均客単価	996.9円



平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援の実施

(3) お取引先の海外進出支援に対する取組み

当行では、お取引先の海外進出を支援するために、外部機関との連携強化、海外情報の提供および商談会の開催などを行っております。

○海外銀行との連携

お客様が海外に進出する際に、提携銀行の日系企業担当窓口(ジャパンデスク)や進出国内の拠点網を活用し、現地進出をきめ細やかにサポートできる体制を整備しております。

①メトロポリタン銀行と株式会社国際協力銀行の覚書への参加（平成25年7月）

フィリピン共和国のメトロポリタン銀行(Metropolitan Bank and Trust Company)と株式会社国際協力銀行(JBIC)が締結した「日本の地域金融機関を通じた中堅・中小企業のフィリピンへの進出支援体制の整備に係る覚書」に参加し、メトロポリタン銀行と提携関係を結びました。

フィリピンはASEANで第2位の人口を有し、近年の高い経済成長率、豊富な若年人口、公用語である英語でのコミュニケーションが容易であること等を理由に、日本企業の進出が活発化しております。

②ベトナム銀行と株式会社国際協力銀行の覚書への参加（平成25年12月）

上記と同様のスキームで、ベトナム社会主義共和国銀行のベトナム銀行(Joint Stock Commercial Bank for Foreign Trade of Vietnam)と提携関係を結びました。

ベトナムはASEANで第3位の人口を有し、長期的には中国を上回るGDP成長率、人口増加率が予想されています。さらにODAは日本がベトナムにとって最大の援助国であり、安価で優秀な労働力、中国とASEANを結ぶ地理的な優位性を背景に海外直接投資が堅調で、日本からの更なる海外展開が期待されます。



平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

成長段階における支援の実施

(3) お取引先の海外進出支援に対する取組み

○「トモニ海外進出個別相談会」の開催（平成26年1月）

お取引先の海外展開・輸出への足掛かりになることを目的として、平成26年1月、愛媛県に本社のある地域商社「芙蓉海運(株)」の貿易部担当者をお招きし、海外進出個別商談会を開催しました。

今回は、タイを中心としたアジア地域への輸出について、当行のお取引先4社が商談を実施しました。

今後も商談会の活用により、地域金融機関として地域のお客様の新たなビジネスパートナーの開拓を図るとともに、海外進出支援に積極的に取り組んでまいります。



海外進出個別商談会の様子

○「海外展開一貫支援ファストパス制度」への「紹介元支援機関」としての参加（平成26年2月）

この制度は、地域金融機関などの支援機関から、外務省（在外公館を含む）、日本貿易振興機構（JETRO）など海外展開支援に知見がある機関に対して、海外進出を目指す企業の紹介を円滑に行うための制度です。

国内の支援機関が、海外に有する拠点までを含めて連携して支援する仕組みを構築することにより、海外展開の「潜在力」・「意欲」を持つ中堅・中小企業等の掘り起こしを図るとともに、国内から海外までシームレスな支援を提供できるようにするものです。

当行は「紹介元支援機関」として参加することにより、海外進出や海外拡販を目指すお客様を様々な支援機関へ円滑に紹介することが可能となり、迅速かつ具体的なサポートが行える体制整備を図りました。

平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

当行は、お客さまや地域の関係機関と連携しながら、地域活性化に積極的な役割を果たすとともに、成長分野への積極的な資金供給等を通じて、地域経済全体の活性化と同時に、お客さまの事業拡大や経営改善の支援を行うことで地域の面的再生に貢献してまいります。

成長分野（医療・介護、環境、アグリ分野）への取組み 地域産業発展のヒントを提供しております

当行では、医療・介護、環境、農業分野等を成長分野と位置づけ、様々なニーズに対応するために行内体制の整備、情報提供の充実及び外部専門家などとの連携強化を積極的に行っております。

医療・介護分野への取組み

（1）行内体制の充実

◇本部法人ビジネスセンターに医療・介護分野の専担者を配置し、外部専門家と連携したお取引先からの相談対応機能の充実、行員への継続的な研修実施による人材育成等を行い、本部と営業店、外部専門家が一体となって、同分野における創業や新規事業、事業拡大に対する支援を実施しております。

◇現在7名の行員が「医療経営士」に合格するなど、同分野に対するコンサルティング機能強化を目的に行員の資格取得を進めております。

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

医療・介護分野への取組み

(2) 外部専門家との連携強化

◇医療コンサルティング会社「総合メディカル(株)」と業務提携を行い、情報提供・サポート体制を充実させております。

◇平成26年2月には、医療機関向けレセプトチェックソフト販売会社(株)AISと業務提携いたしました。

(3) セミナーによる情報提供の実施

○「トモニ医業経営セミナー」開催（平成25年10月）

同分野における情報提供強化の一環として「医業経営セミナー」を継続して開催しております。

平成25年10月には、大阪で「第4回トモニ医業経営セミナー」を開催いたしました。

本セミナーでは、株式会社川原経営総合センター経営コンサルティング部門参与 岩田常昭氏を講師にお招きし、「今後の医療制度と診療報酬の方向性」をテーマに、2025 年を見据え、次期診療報酬改定や来年度以降に検討されている医療法改正などの検討状況を踏まえながら、今後の医療・介護施設の経営戦略のあり方についてご講演いただきました。

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

農業分野への取組み

当行では、徳島県の主要産業である農業分野の活性化、6次産業化支援のため、各種施策に取り組んでおります。

(1) 行内体制の充実

◇本部法人ビジネスセンターに農業分野の専担者を配置し、日本政策金融公庫との提携による「とくぎんアグリサポートローン」で農業者向けの融資に取り組んでいる他、徳島県商工会連合会と共同で「6次産業総合化事業計画」の認定取得支援に取り組んでおります。

◇現在 行員3名が「農業経営アドバイザー」に合格し、同分野におけるコンサルティング機能の発揮に努めております。

(2) トモニアグリファンドの設立（平成25年11月）

当行では、農林漁業の6次産業化に取り組む生産者や事業者らの支援を目的とするサブファンド「トモニ6次産業化サポート投資事業有限責任組合」（愛称「トモニアグリファンド」）を設立いたしました。本ファンドは、平成24年8月に成立した農林漁業成長産業化支援機構法に基づき、農林水産大臣の認可を前提に組成される「地域ファンド」であり、トモニHDグループ各社と（株）農林漁業成長産業化支援機構が共同で、6次産業化事業体に出資や経営支援を行うものです。

■トモニアグリファンドの概要

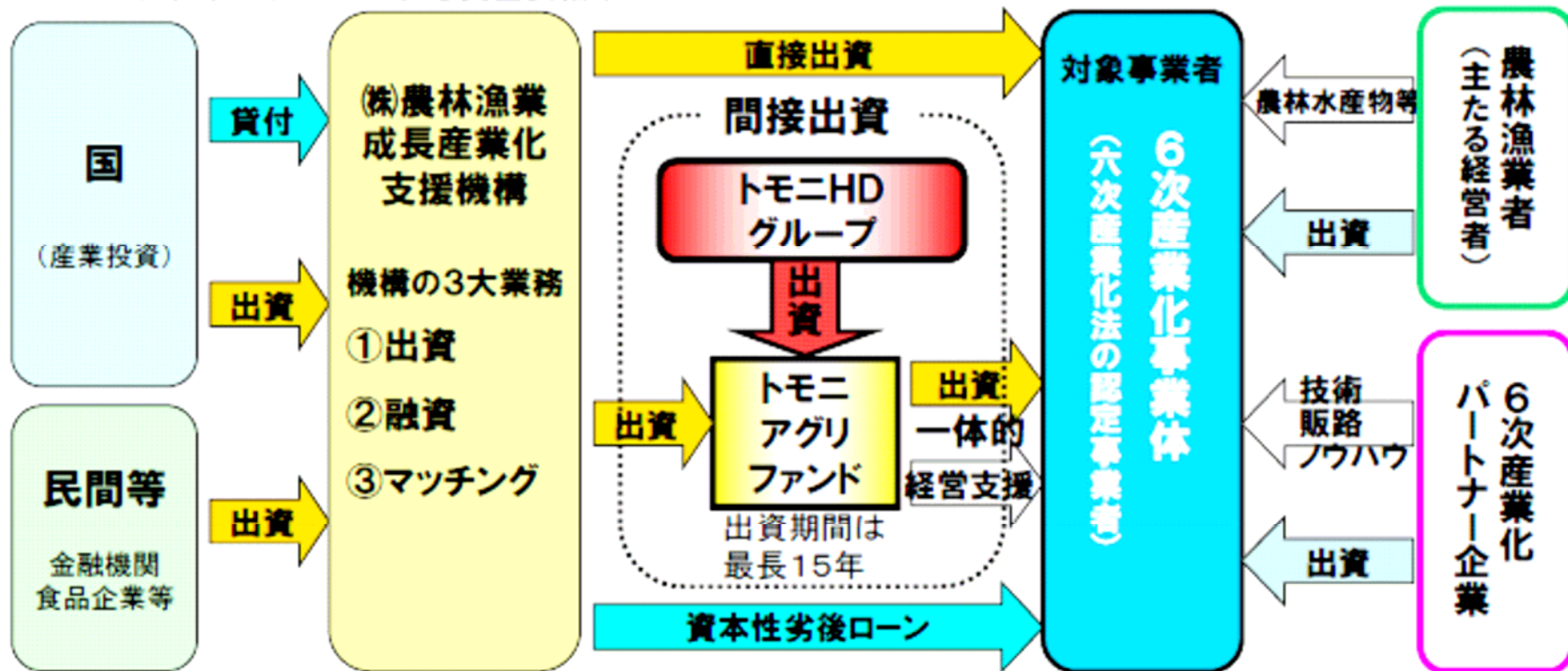
1. 名称	トモニ6次産業化サポート投資事業有限責任組合（愛称：トモニアグリファンド）
2. ファンド総額	5億円
3. 設立形態	投資事業有限責任組合
4. 無限責任組合員	トモニリース（株）
5. 有限責任組合員	（株）農林漁業成長産業化支援機構、徳島銀行、香川銀行、（株）徳銀キャピタル

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

農業分野への取組み

・ トモニアグリファンドによる資金供給イメージ



東京でのアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場」による地域製品の販路開拓支援やミニ商談会の開催によるビジネスマッチング支援などとあわせ、資金面からもアグリローンに加え、本ファンドの活用により、新たに6次産業化支援、地域経済の活性化に寄与できるものと考えております。

現在、ファンド活用案件について、具体的な検討を行っております。

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

農業分野への取組み

(3) 6次産業化個別相談会の開催

トモニアグリファンドの設立にあわせ、6次産業化を目指す生産者や事業者のみなさまに、ファンドご活用についての相談会を、平成25年12月に開催し、3社のご相談をいただきました。

成長分野および企業の成長段階における積極的な資金供給

(1) 「とくぎんとモニ成長戦略ファンド」による資金供給

日本銀行の制度を活用した「とくぎんとモニ成長戦略ファンド」を通じて、成長分野への積極的な資金供給を行っております。

■取扱開始以降の累計取組み実績（平成26年3月末現在）： 365件、352億円

(2) 新たな融資手法を活用した資金需要への対応

当行は、担保・保証に過度に依存しない融資への取組み強化を目的として「動産・債権担保融資（ABL）」や「銀行保証付私募債」の受託等に積極的に取り組んでおります。

平成25年度には、ABLへの取組強化に向け(株)三菱総合研究所、(株)ゴードン・ブラザーズ・ジャパン、東京センチュリーリース(株)の3社と動産担保価値評価等に関する業務提携を行いました。

■平成25年度取組実績： ABL 19件、118億円

私募債 27件、25億円（うち環境私募債 1件、1億円）

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

経営改善・事業再生支援への取り組み

当行では、中小企業・個人事業主のお客さまに対して、本部専門部署と営業店が一体となって、ご融資に関する相談、経営改善計画書策定支援等の経営相談に積極的に取り組むとともに、外部専門家や外部機関と連携を図りながらお客さまの事業再生や業種転換等抜本的な経営改善に向けたコンサルティング機能の発揮を積極的に行っております。

(1) 行内体制の充実

本部審査部内に設置している「経営サポート室」に経営改善支援担当者を配置し体制を強化しています。「経営サポート室」は、営業店と一体となってお取引先の経営改善支援を行うとともに、営業店職員に経営改善手法等の指導を行い、経営改善支援能力のレベルアップを図っております。

平成24年11月には、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受け、中小企業の課題解決の鍵を握る事業計画の策定支援を通じて経営力強化のお手伝いをしております。

(2) 外部機関との連携強化

○「中小企業再生支援協議会」との連携強化による経営改善支援

平成25年度中の連携実績としては、相談持込先数27先、完了先数22先となりました。

○「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」の活用

各分野の専門家の力を借りた経営改善計画書の策定を支援するための制度である「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」を活用し、平成25年度中、3先の経営改善計画策定を完了いたしました。

◇徳島県の「中小企業支援ネットワーク」へ参加し、「経営サポート会議」を活用した経営改善支援を実施しております。

平成25年度の主な成果

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮

経営改善・事業再生支援への取り組み

(3) 経営相談体制の強化

◇TKC四国会と「TKC経営改善計画策定支援サービスに関する覚書」を締結し、経営改善に関する相談体制を強化しております。

◇国交省と「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に係るパートナー協定を締結し、中堅・中小建設企業の新事業展開、企業再編等の経営戦略の実現を支援しております。

(4) 経営改善・事業再生支援への取り組み実績

項目		25年度実績
経営改善への取り組み	経営改善支援取り組み先数(a)	1,080先
再生計画策定率 (正常先除く)	再生計画策定先数(b)	829先
	再生計画策定率(b/a×100%)	76.8%
	ランクアップ先数(c)	38先
	ランクアップ率(c/a×100%)	3.5%
中小企業再生支援 協議会の活用	相談持込先数	27先
	完了先数	22先

(5) 金融円滑化に対する取り組み状況

中小企業・個人事業主および住宅ローンをご利用のお客様に対して、条件変更のご相談にきめ細かくお応えするために、本部及び全営業店に「ご融資相談窓口」を設置し、融資相談担当者を配置しております。

「貸付条件の変更等の実施状況」

(平成26年3月31日現在)

中小企業向け		住宅資金借入者向け	
件数	金額	件数	金額
10,809件	4,559億円	417件	55億円

平成25年度の主な成果

1. お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

経営改善・事業再生支援への取り組み

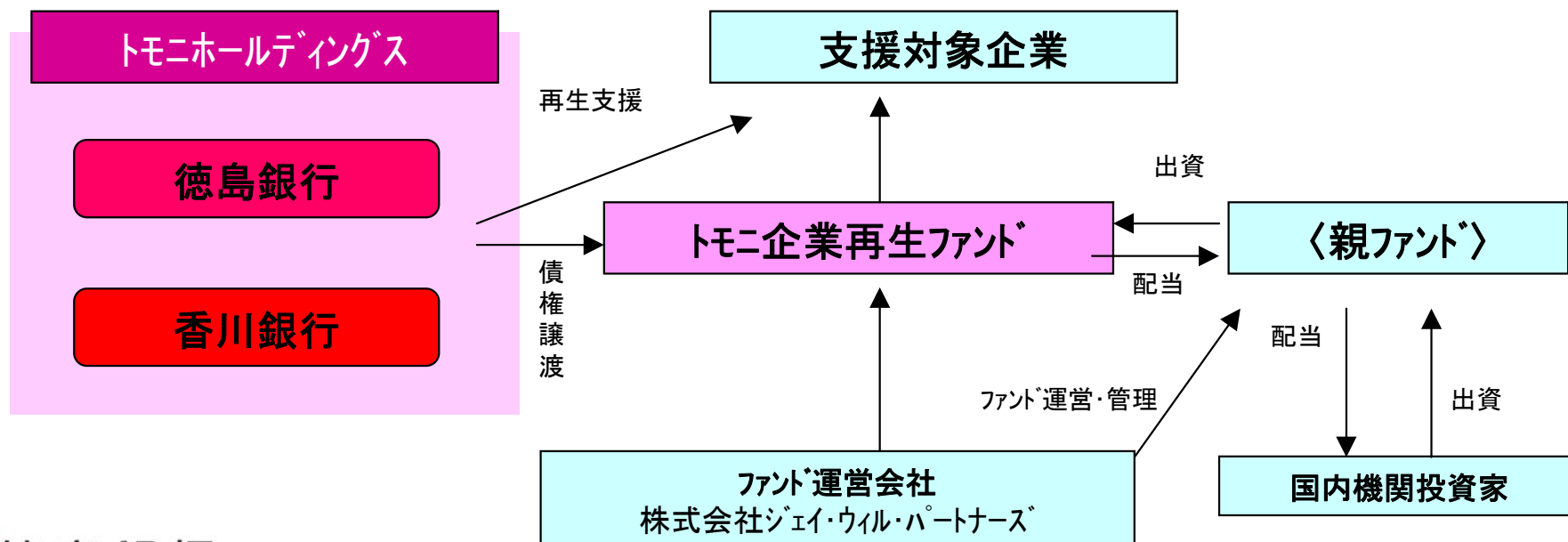
(6)「企業再生ファンド」を活用した地域企業再生スキームの取り組み

トモニHDグループ共同で、企業再生ファンド「トモニ企業再生ファンド」を活用した地域企業再生スキームを創設しております。

本取り組みは、お取引先企業のうち過剰債務への抜本的な対策や事業の再構築を必要としている先に対し、専門家のノウハウを結集したファンドを活用し、再生支援を行うものです。

ファンドは、地方企業再生に実績のある株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズが運営しております。平成25年度は、お取引先1社に対して本ファンドを活用した再生支援を完了いたしました。

「トモニ企業再生ファンド」スキームイメージ図



平成25年度の主な成果

2. 地域の面的再生への積極的な参画

地域との連携強化

○徳島市、鳴門市と企業誘致連携協定を締結（平成25年7月、10月）

地域の発展を目的として、それぞれが持つ経営資源を有効活用し、企業誘致を積極的にすすめるために、平成24年度の阿南市に続き、平成25年度には、徳島市、鳴門市（いずれも徳島県）と企業誘致連携協定を締結いたしました。

両者のネットワークを活かして、誘致候補企業の相互紹介や進出希望企業に対する取引先の紹介等を行うことにより、地域活性化に貢献してまいります。

地域活性化イベントとの連携

○ 2014徳島銀行カレンダー「Newtype × マチ★アソビ ANIME AWARD」を制作
（平成25年12月）

地域活性化イベントを応援する目的で、平成24年度に引き続き、徳島のアニメイベント「マチ★アソビ」をプロデュースするユーフォーテーブル有限公司と連携し、2014徳島銀行カレンダー「Newtype × マチ★アソビ ANIME AWARD」を制作いたしました。



平成25年度の主な成果

2. 地域の面的再生への積極的な参画

CSR(企業の社会的責任)及び地域活性化への取組み

当行では、CSRの一環として地域活性化につながる各種施策に取り組んでおります

(1)環境保全への取組み

当行は、四国に本店を置く銀行として初めてISO14001の認証を取得(平成26年2月「自己適合宣言」へ移行)し、「環境にやさしい銀行」として、環境保全に積極的に取り組んでおります。

①「ライトダウン」活動への参加

環境省が地球温暖化防止対策の一環として実施している「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」や四国4県が地球温暖化対策の一環として実施している「ムーンナイトSHIKOKU」の趣旨に賛同し、クールアースデーの7月7日や中秋の名月の日に、本部及び全営業店において建物内の照明設備を一斉消灯するライトダウンイベントを実施しております。

②徳島の森を守る活動

「高丸山千年の森 森づくり活動」、「とくしま協働の森づくり事業」への参加を通じ、徳島の森を守る活動を継続しております。
「とくしま協働の森づくり事業」では、勝浦郡上勝町旭の森林を「トモニの森」と命名し、整備を進めております。

③ボランティア清掃の実施

「アドプト・プログラム吉野川」や「みちぴか事業」に参加し、吉野川河川敷及び本店周辺道路の清掃・美化活動を行っております。

平成25年12月には「日本の棚田百選」・「重要文化的景観地域」に指定されている「檜原の棚田」(上勝町)の景観修景活動に参加いたしました。



平成25年度の主な成果

2. 地域の面的再生への積極的な参画

CSR(企業の社会的責任)及び地域活性化への取り組み

(2) 地域と連携した災害への備え

○研修会館宿泊棟を地域の津波避難施設として整備（平成25年10月）

徳島市の津波避難施設整備費補助制度を活用して、研修会館宿泊棟を地域住民等の津波避難施設として整備し、徳島市から津波避難ビルに指定されました。

平成25年10月には、(協)徳島総合流通センターと共同で、当行研修会館にて流通センター内企業の役職員や地域住民約200名が参加した防災訓練を実施いたしました。



研修会館宿泊棟

(3) 地域貢献活動への取り組み

①徳島銀行生涯学習振興財団による活動

地域住民の生涯学習に関する事業の支援を行うという目的のもと、平成26年3月末までに累計で295 団体に対し、49, 212千円の助成金を交付しております。

また、財団事業の一環として、毎年各界の著名人による講演会や、(協)徳島総合流通センターとの共催にて「リオデ徳島音楽祭」を開催しており、文化や音楽の振興に努めております。

平成26年2月には「目利きの人生談義」をテーマに、古美術鑑定家でエッセイスト・テレビタレントの中島誠之助氏を講師にお招きし、講演会を開催いたしました。



生涯学習財団講演会

平成25年度の主な成果

2. 地域の面的再生への積極的な参画

CSR(企業の社会的責任)及び地域活性化への取組み

(3) 地域貢献活動への取組み

② 金融教育への取組み

○「夏休み親子ふれあい金融機関見学」(平成25年8月)

次世代を担う子供たちを対象に、徳島県金融広報委員会と共催にて、毎年「夏休み親子ふれあい金融機関見学」を実施しております。

お金についてのさまざまなお話や、本物の1億円の重さ体験等、金融教育を通じて夏休みの思い出づくりの機会を提供しております。



③ 地域行事への参加

○「阿波踊り(徳島市)」(平成25年8月)

徳島県の代表的な祭りである「阿波踊り」に、毎年「とくぎん連」として参加しております。



○「とくしまマラソン2013」(平成25年4月)

毎年「とくしまマラソン」に多くの行員がランナーとして出走するとともに、出走前の荷物搬入、沿道での声援やアイシングのボランティアとして大会運営を支えております。

